

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	創業・新事業創出の支援	施策No	05-02	部課名	産業経済部経営支援課					
関連部課名		課長名	石崎	内線	455					
行政評価事業体系	分野	III	産業革新都市	政策	05	活力ある地域経済づくり				
目的	創業・起業や新たな事業への取組を支援し、区内企業数の増加を図るとともに、新産業の創出につなげる。									
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文				
			29年度	30年度	元年度					
	①	まちの産業	2.56	2.60	2.60	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？				
	②									
	③									
	④									
	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明			
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値（8年度）		
	①	セミナー受講者の開業率（％）	50	17	26	25	30	スタートアップ受講者の開業率		
	②	創業支援融資実行件数（件）	27	20	14	20	40			
③	新製品・新技術の開発件数（MACCプロジェクト）（件）	2	2	1	5	10	MACCプロジェクト参加企業の新開発等件数			
④	産学連携研究開発等補助件数（件）	12	11	14	12	20				
⑤	コワーキングスペース年間延べ利用者数				120	1400	2年度は令和3年2、3月の2か月間の見込み			
(単位：千円)										
行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目		30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	52,546	42,614	▲ 9,932	行政収入	地方税	0	0	0
		物件費	13,586	13,968	382		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		都支出金	4,872	5,482	610
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	17,545	17,248	▲ 297		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	4,872	5,482	610
		賞与・退職給与引当金繰入額	8,480	1,358	▲ 7,122		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 87,285	▲ 69,706	17,579
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	92,157	75,188	▲ 16,969		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 87,285	▲ 69,706	17,579
		特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 87,285	▲ 69,706	17,579
貸借対照表	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目		30年度	元年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	1,442	1,013	▲ 429
	固定資産	有形固定資産	0	0	0	固定負債	その他の流動負債	0	0	0
		土地	0	0	0		固定負債	14,919	9,814	▲ 5,105
		建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
		建物減価償却累計額	0	0	0		退職給与引当金	14,919	9,814	▲ 5,105
		工作物等	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		負債の部合計	16,361	10,827	▲ 5,534
		無形固定資産	0	0	0		正味財産	▲ 16,361	▲ 10,827	5,534
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	▲ 16,361	▲ 10,827	5,534
		その他の固定資産	0	0	0		負債及び正味財産の部合計	0	0	0
資産の部合計		0	0	0						
財務諸表に関する特徴的事項等										
○行政費用は、物件費として産学連携推進事業の地域金融機関連携型課題解決支援事業及び地域産業創出プロジェクト推進事業のビジネスプランコンテスト実施事業に係る委託料が7割以上を占める。補助費等としては、起業家支援育成事業及び産学連携推進事業の補助金が約6割を占める。給与関係費の減は、職員構成の変動や職員の担当替によるものである。 ○行政収入は、産学連携推進事業の地域金融機関連携型課題解決支援事業及び地域産業創出プロジェクト推進事業のビジネスプランコンテスト実施事業に係る東京都の補助金である。										

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○国や都と同様に、企業経営者の高齢化・後継者不足等により、荒川区においても事業所数の減少傾向が続いている。荒川区は、事業所の約2割を製造業が占めるモノづくりの盛んなまちであり、23区では、墨田区に次いで2位の集積度（平成28年経済センサス）を誇っている。 ○区内で創業・起業した事業所数は、廃止事業所数を下回る状況である。※荒川区内の新設は675事業所、廃止は1,525事業所（平成28年経済センサス） ○創業専用総合窓口や国の認定を受けた荒川区創業支援事業計画に基づき、民間の支援事業者や地域金融機関と連携を進め、創業支援融資のあっ旋や実行件数は、年20件から30件の間で安定して推移してきたが、昨今は、利用件数が伸び悩んでいる。 ○新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少やニーズの変化等区内企業を取り巻く経営環境が厳しくなっている。
課題	○創業支援に関する施策情報を、将来有望な潜在的創業希望者に確実に届けるため、より積極的かつ多角的な情報提供を行う必要がある。 ○廃業による地域経済の活力低下を防ぐには、一層の創業支援が必要であり、支援情報の提供に加え、積極的・直接的に潜在的創業希望者の発掘を行う必要がある。 ○創業者の持続的な成長を図るため、創業期における限られた経営資源の有効活用や経営基盤の安定化を支援していく必要がある。 ○日暮里繊維街など豊かな地域資源を生かした支援策を構築していく必要がある。 ○地域産業活性化のためには、創業支援だけでなく、既存企業も含めた、革新的な製品等の創出を支援する必要がある。 ○加えて、長期化も予想される新型コロナウイルスへの感染防止に伴う新たなニーズに対応した事業戦略の推進などウイズコロナ、アフターコロナに対応した企業努力への支援が必要である。
今後の方向性	○創業支援事業計画の認定連携支援事業者である、中小企業診断士等の団体や金融機関等との連携を深め、情報提供のチャネルの多角化を行いながら、意欲的な創業希望者との接触を図り、創業数の増加につなげていく。 ○創業支援融資の積極的な活用を促進し、意欲的な創業希望者の資金需要に対応する。 ○令和2年度に竣工予定の「日暮里地域活性化施設」の中に、ファッション産業関連のインキュベーション機能（起業家を育成・支援する機能）のほか、潜在的創業希望者の発掘につなげるコワーキングスペースを設置するなど、区内の地域資源を最大限活用して創業・起業の支援を行う。 ○区内企業と大学や金融機関等との連携を一層促進し、新事業創出・新分野進出を支援する。 ○革新的な製品等創出に繋がる可能性を秘めたクラウドファンディングの積極的な活用を促進する。 ○積極的なハンズオン支援や情報提供等を通じて、ウイズコロナ、アフターコロナの時代における新たな商流への対応を支援する。

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
重点的に推進	重点的に推進	創業支援事業計画を着実に実行するとともにモノづくりクラスター形成に向けたMACCプロジェクトや産学連携を推進することは、区内産業の活性化及び新型コロナ禍克服のためには極めて重要である。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
モノづくりクラスター形成促進事業	06-02-04	24,628	23,536	20,985	21,637	重点的に推進	重点的に推進	地域経済活性化のためには、モノづくり産業の集積等を生かした「産学公金の顔の見えるネットワーク」構築を軸とした「荒川区版産業クラスター」形成への取組が極めて重要であり、重点的に推進する。
産学連携推進事業	06-02-05	18,141	16,271	10,854	11,998	重点的に推進	重点的に推進	「産学公金の顔の見えるネットワーク」を構築するために、大学等有する専門知識を活用した産学共同による新製品・新技術開発を支援することは極めて重要であり、重点的に推進する。
地域産業創出プロジェクト推進事業	06-02-06	10,069	7,371	2,781	3,098	重点的に推進	重点的に推進	産業の創成と活性化のためには、ビジネスプランコンテストの実施や近隣区とのネットワークを構築し、支援環境を整備することが極めて重要であり、重点的に推進する。
起業家支援育成事業	06-02-07	18,200	14,296	11,520	12,396	重点的に推進	重点的に推進	創業支援は、創業期にある事業者の成長にとって不可欠なものであり、区内産業の活性化及び雇用や地域の賑わい創出の観点からも極めて重要であり、重点的に推進する。
近隣区モノづくり連携事業	06-02-18	5,530	5,414	1,887	1,616	推進	推進	区を越えた企業間交流による新製品や新技術開発の端緒となる事業であり重要であることから、推進する。
荒川区新製品・新技術大賞	06-02-19	8,149	0	2,684	—	重点的に推進	休止・完了	本事業は、新製品の開発機運を醸成するだけでなく、様々な経営革新を進めていくうえで、有効であることから、今後も適切に制度設計をしながら、隔年にて重点的に推進する。
ファッション系クリエイター向け創業支援施設開設準備	06-02-28	7,439	6,877	152	230	重点的に推進	重点的に推進	日暮里繊維街においてファッション関連産業の創業支援を実施することは、地域特性を活かした区の産業の活性化を図るうえで、極めて重要な施策のひとつであることから、重点的に推進する。
創業支援カフェ事業	06-02-29	0	949	—	—	重点的に推進	重点的に推進	従来の発想とは違う新ビジネス創出の可能性を秘めており、地域経済・活力の一層の促進が期待できることから、重点的に推進する。
クラウドファンディング活用支援事業	06-02-30	0	475	—	—	重点的に推進	重点的に推進	創業期にある事業者等にとって資金調達の多様化が図れるものである。また、新しい商流となる資金調達方法であり、信頼性の補完という意味においても、行政が支援する意義は高く、重点的に推進する。
合 計		92,156	75,189	50,863	50,975			